

THE LONGINES WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses

(For 3yos and upwards which raced between 1st January 2015 and 8th November 2015)

アメリカンファラオ **【133】** は、ブリーダーズカップクラシック(G1)で6馬身半差の圧勝劇を演じ、レーティングを 131 ポンドから 133 ポンドに上げ、現役生活を締めくくった。これにより、最新版ロンジンワールドベストレースホースランキングで首位の座を維持している。

LONGINES World's Best Racehorse Rankings			
Leading Horses			
Rank	Horse	Rating	Trained
1	AMERICAN PHAROAH (USA)	133	USA
2	GOLDEN HORN (GB)	130	GB
3	TREVE (FR)	126	FR
4	ABLE FRIEND (AUS)	125	HK
4	SHARED BELIEF (USA)	125	USA
6	SOLOW (FR)	124	FR

同馬がこのままランキング首位の座を維持し続ければ、2008 年に 130 ポンドの評価を得たカーリン以来、米調教馬として久々にランキングトップとなる。1995 年以降、同国の調教馬でアメリカファラオより高いレーティングを得たのは 1996 年に 135 ポンドとなったシガーのみである。

ゴールドデンホーン【130】も引退前の最後のレースであるブリーダーズカップターフ(G1)に出走したが、牝馬ファウンドに僅差敗れ、2着となった。同馬のレーティングは前回同様で、ランキングも第2位のままである。

凱旋門賞(G1)でゴールドデンホーンの4着に敗れたトレヴ【126】が今回も第3位となっている。2013年にはランキングトップタイであった同馬は既に引退し、今後は繁殖生活を送ることとなる。

第4位で並んでいるのがエイブルフレンド【125】とシェアドビリーフ【125】の騾馬2頭である。エイブルフレンドは6月以来、久々の出走となった10月末のプレミアボウル(香港 G2)を制している。またシェアドビリーフはシーズン序盤に故障したが、現在は帰厩している。

上位に変動はなかったが、近走の成績により順位を上げたり、または新たにランキングに加わった馬が多数見られた。

英国ではファッシネイティングロック【123】が英チャンピオンステークス(G1)を制し、また、ムハーラー【123】が英チャンピオンズスプリントステークス(G1)を制して、それぞれレーティングを上げた。

オーストラリアでは、シャトークア【123】がマニカトステークス(G1)を2馬身差で快勝し、牝馬ウインクス【122】が直線力強い走りを見せコックスプレート(G1)を制した。またモンゴリアンカーン【120】がコーフィールドカップ(G1)を制し、新たにランクインした。

一方、ブリーダーズカップ開催からは圧倒的なパフォーマンスを見せた2頭が新たにランキングに加わった。リアムズマップ【121】はブリーダーズカップダートマイル(G1)を制し、またデピン【120】は牡馬勢を降しブリーダーズカップマイル(G1)を制した。

その他では、バイエルン大賞を制したイトウ【120】も新たにランクインしている。

2015年の年間ランキングは来年1月のロンジンワールドベストレースホースランキング表彰式の中で発表される。